

第3章 成長と発達の記録

発達の記録

～赤ちゃんの成長・発達を「みつけた!」～

赤ちゃんの発達と発育は個人差が大きくそれぞれのスピードで成長していきます。ここでは、発達をいろいろな側面から順を追って記載しています。小児科やリハビリの診察で確認することが多い項目を選んでみましたので、ママも赤ちゃんと一緒に遊びながら見てみましょう。

【発達の記録のページの見方と記録方法の説明】

確認したい項目です

しかめ顔などの表情をする

「表情が豊かなしるしです。次は必ず笑いますよ」

3月9日

確認した「みつけた!」日を記入しましょう。
「月 日」「生後 日目」
どちらでもよいです

確認したい項目(赤ちゃんの様子)は、発達の段階から見たときにどういう意味があるかを説明しています。

情緒と感覚
の発達

赤ちゃんの反応
「みつけた!」

みつけた!日

しかめ顔などの表情をする

「表情が豊かなしるしです。次は必ず笑いますよ」

人の顔や動くおもちゃを目で短時間追う

「自分以外の周囲のことを認識するようになりました」

ママの声やガラガラの音を聴いた瞬間に、
赤ちゃんの動きが止まる

「その方向に向かなくても、ママはどこかな?と考えています」

抱っこすると泣き止む

「ママのお腹の中の無重力と同じ感覚のため、リラックスできます」

哺乳瓶の乳首(またはおもちゃ)がくちびるに
触れると口で追って吸う

「反射ですが、将来の離乳食にもつながります」



運動の発達

①

仰向けで顔を
のぞいて「みつけた!」

みつけた!日

赤ちゃんの顔を正面から20cmくらい離して
見た時に赤ちゃんが目が合う

「丁度焦点が合う距離です。おもちゃを見せてみてください」

頭は左右のどちらかを向いていて、
時々、反対も向く

「首がしっかりしてくると頭の向きが替えられるようになります」

仰向けで上から見たときに、
顔が正面を向いている

「仰向けでの頸座りが完成です。首すわりまであと一歩」



うつ伏せになった時に
「みつけた!」その①

みつけた!日

手足やからだ丸まることができる

「手足がぎゅっと曲がって、赤ちゃんらしい姿勢になります
ここから伸びる運動が始まります」

頭を一瞬持ち上げる

「うつ伏せで首すわりができたということ
おしりが浮いてしまうので少しおさえてあげるとうまくできます」



どちらか一方に頭を回す

「さらに首すわりが進みます
自分で口鼻がふさがらないようにできます」

ママがお手伝いして赤ちゃんのこぶしを口に
近づけるとしゃぶる

「手をしゃぶりながら頭を持ち上げ続けることが
できるようになります」



うつ伏せになった時に
「みーつけた!」その②

みーつけた!日

赤ちゃんの前方から呼びかけたりガラガラを
見せる(鳴らす)と見ようとして正面で頭を上げる

「どこで音がるのか見つけることができ、背中の筋肉が強くなり
お座りの準備が始まりました」

ママがお手伝いして、赤ちゃんの手を肩より前に
出すと、手でからだを支えて頭を上げる

「頭を上げている時間がだんだん増えてきて、ハイハイの準備です」



頭を上げたまま、顔を左右に向ける

「重心が左右に動くことでおへそ中心に回る準備です」

うつ伏せのまま足を伸ばす

「完全に股が伸びてきます。たっちの準備です」

手や足の動きで
「みーつけた!」

みーつけた!日

ママがお手伝いしてあかちゃんの手を口に
持つてくると吸う

「最初に自分の手の存在を認識するのは自分の口なんです」

手のひらにママの指を入れるとぎゅっと握る

「手のひらに触れたものを握るのは一時的な正常な反射です」

手どうしを握る

「手が反対の手を見つけました」

からだをくすぐると、伸ばした手足を曲げ
床から持ち上げる

「重力に対抗して手足を上げることが
出来るようになりました」



左右の足の裏を合わせてこする

「歩くときに使う足裏の準備体操です」



おもちゃで遊んで
「みつけた!」

みつけた!日

おもちゃをどちらか一方の手に近づけて
触れた時につかむ

「自分でつかみに行けるようになりました。ミトンなどを外して、
手の感触を学ばせてあげましょう」

片手でつかんだおもちゃを口に近づけたり
唇につけたりする

「硬い・やわらかい刺激を口で感じて調べてます」
「はじめは距離がわからなくて顔にぶつかけたりしますが、
口と手の距離を学んでいます」

ガラガラを赤ちゃんの見えるところで見せると
赤ちゃんが手を伸ばす

「手が自由に動き始めて距離や方向が分かるようになります」

おもちゃを両手で持って、
手の中で回しながら口で遊ばす

「両方の手が協力してできるようになりました」



みつけた!日

片方の手におもちゃを持っているときに、
反対側の手におもちゃを持たせると、
両方の手に別々のものを握る

「見ていない方の手もちゃんと握って、見比べたりします」

おもちゃを他方の手に持ち替える

「後に『ちょうだいと言うと渡してくれる』に発展します」

左右に持ったものを打ちつけて音を出す

「物と物との関係を調べ始めました」

うつ伏せや座位で回転するおもちゃをまわす

「指をつかって回すことができるようになりました。
ガラガラなどのおもちゃだけでなく、
回転するおもちゃで遊んでみましょう」

